

くびき 頸城地区直轄地すべり防止事業

本地区は、糸魚川～静岡構造線の東縁にあたり、長野県境を東西に走る関田山脈の北斜面に位置している。地質は新第三紀層の堆積層と砂岩泥岩層で形成され、凝結度が弱いことから地下水の影響で容易に脆弱化し地すべりが発生しやすい状況である。

平成17年の局地的豪雨による地すべりでは、家屋1棟が倒壊、国道、一級河川が土砂で埋没するなど甚大な被害を受ける災害が発生している。近年は、平成29年台風21号や、令和元年台風19号に関連した豪雨により地すべりが発生している。

荒廃状況



平成17年局地的な豪雨による音沢区域の被災状況
(家屋1棟が倒壊、国道・一級河川が土砂で埋没)

平成31年融雪期の地すべりによる
上山区域の被災状況

【予算措置状況】

R7当初予算 : 232百万円
R7補正予算 : 277百万円
R8当初予算 : 179百万円

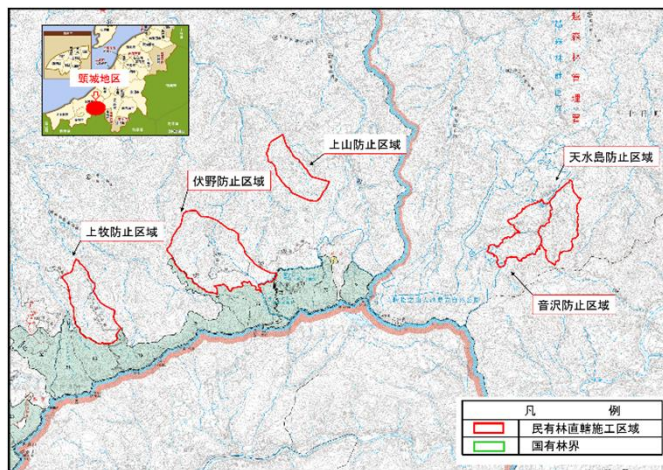
【主要工事計画】

溪間工1基
鋼管杭打工 26本

【主な保全対象】

人家 508戸
国県道 18.7km
農耕地 288.2ha

位置図



復旧状況

山腹工、抑制工(集水井工等)、抑止工(アンカー工等)により地すべり滑動の安定化を図っている。

